

## 暫定開通に向けて機運醸成イベント開催

### 八十里越天空大橋からバンジージャンプ

来年夏に暫定開通を迎える、国道289号八十里越にある八十里越天空大橋から飛ぶバンジージャンプイベント「新潟バンジー」が6月27日・28日に開催され、2日間で約60人が天空大橋から飛び、絶景を楽しみました。

27日には、三条市の滝沢亮市長や只見町、南会津町の職員らがバンジージャンプを体験しました。体験した只見町職員の日黒誠也さんは「怖かったですが、飛んだ瞬間は景色が最高で貴重な経験になりました。八十里越の開通で只見町と新潟県の交流がさらに深まり、多くの方に町の魅力を知っていただけることを期待しています」と話しました。



▲飛ぶ直前、覚悟を決める日黒さん(右)

## ふくしまディスティネーションキャンペーンを締めくくる

### 観光列車「SATONO」を町民らがお出迎え



▲出発する列車に「いってらっしゃい」と手を振りました

観光列車「SATONO」が6月27日、只見線に入線し、町民や只見線こども会議のメンバーらが乗客をもてなしました。今回は、JRグループと県・市町村・地元事業者などが一体となって地域の魅力発信をする観光キャンペーン「ふくしまディスティネーションキャンペーン(ふくしまDC)」にて「福島県政150周年&ふくしまDC特別企画 JR只見線霧幻SATONOツアー」として企画されたものです。

只見駅前では1分駅長フォトサービス、甘酒のふるまい、抽選会などが行われ、乗客を歓迎しました。

## 昨年を上回る参加者が集まり盛り上がりしました

### 「第8回国際文化交流会」開催

「第8回国際文化交流会 ミニ運動会」(明和自治振興会、明和公民館主催)が6月27日、明和小学校体育館で開催されました。地域住民やヒロタテクノ、会津工場、グループホーム和の里、桜の丘みらい、ライズサプールに勤める技能実習生や社員など、約110人が参加しました。参加者は、借りものの競争や綱引きなどの競技を通じて交流しました。



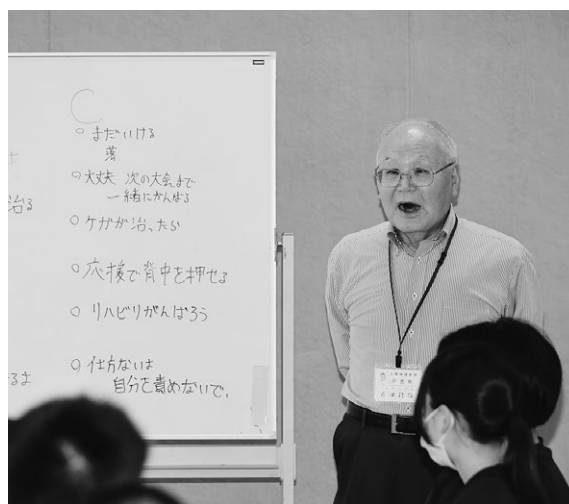
▲最後に記念撮影。楽しい時間を過ごし、親睦を深めました

## 人権擁護委員

### 角田行雄さん再任

角田行雄さん（小林）が、令和8年7月1日付けをもって法務大臣から人権擁護委員に委嘱されました。角田さんは再任となります。

人権擁護委員は、昭和23年、政令に基づき人権擁護委員制度が発足し、翌24年に人権擁護委員法が施行されて以来、70年以上にわたり、憲法で保障されている地域住民の基本的な人権の擁護と人権尊重思想の普及高揚を目的として活動しています。角田さんはじめ町内の人権擁護委員は、引き続き小中学校での人権教室などを通じて、人権の大切さを伝えていきます。



▲人権に関心を持ってもらう啓発活動を展開していきます

## 笹の葉の採り方と 保存方法を学ぶ

### 「笹巻きワークショップ」開催



▲1,000枚以上の笹の葉を採りました。秋が楽しみです

「笹巻きワークショップ」（明和公民館主催）が7月4日に開催されました。角田ふみ子さん（小林）と藤キヨ子さん（小林）が講師を務めました。

第1回の今回は、まず亀岡地内で笹の葉を採取しました。講師が良い葉の特徴を説明し、参加者はハサミを使って丁寧に採りました。その後、明和公民館に移動し、タオルで葉を拭いてから30枚ごとにまとめて、糸を通して葉を干しました。第2回を11月14日に予定しており、笹巻きやきな粉を作って試食します。

## ブナセンター自然観察会

### 「夏のブナ林観察会－ブナ林の樹木を極める－」開催

自然観察会「夏のブナ林観察会－ブナ林の樹木を極める－」（只見町ブナセンター主催）が7月5日に、ただみ観察の森・梁取のブナ林（学びの森）で開催され、町内外から25人が参加しました。

今回は只見町のブナ林に生育する樹木について理解を深めることをテーマに、参加者は林道沿いとブナ林内の2地点でどのような樹木があるのか調べながら学びました。林道と林内で種類数に違いはないものの、地表に光が届きやすいかどうかで、多く出現する樹木に違いが見られました。調査を通して樹木を繰り返し観察し、見分ける力を養う機会となりました。



▲調査後は、遊歩道を歩きながらブナ林を観察しました



## 防災意識と災害対応 技術の向上を図る

## 「小川集落防災訓練」実施

小川集落では7月5日に防災訓練を実施しました。この防災訓練は区民の防災意識と、自然災害が発生した際の対応技術の向上を図ることを目的に、毎年実施しています。

訓練はレベル3警報（高齢者等避難）とレベル4危険警報（避難指示）が発令された想定で、住民が徒歩で避難所に避難する内容で行われました。また、要援護者の安否や避難手段の判断、避難所内の環境整備や備蓄の管理なども確認されました。訓練終了後は区長が総括を述べ、区役員や消防団などが訓練の反省と課題について協議しました。



▲平時から避難訓練を行い、地域の防災力を高めます

## ざっとむかしあったど。「昔ばなしを楽しむ会」開催



▲話者の語りに聞き入る時間を過ごしました

「第1回昔ばなしを楽しむ会」（朝日地区地域づくり委員会・朝日公民館主催）が7月5日、朝日公民館で開催されました。只見町昔ばなしの会の皆さんが語り手を務め、先代から教わった昔ばなしを披露しました。

只見町昔ばなしの会は馬場タニさんはじめ多くの話者の語りを残していきたいと30年以上前に発足し、町内各地で語り続けています。代表の渡部悦子さん（小川）は「聞いて頭の中で描いて、自分なりに語って、伝わっていったのが昔ばなし。ひとりひとりの味が語りに表れる」と話しました。

## 「かるがもクラブ」開催 七夕の短冊飾りに願いを込める

令和8年度第2回かるがもクラブが7月8日、保健福祉センターで開催されました。

参加した5組の親子は、始めに手遊び歌で遊びコミュニケーションを取りました。その後、職員が七夕の由来や行事食などについて説明しました。参加者は短冊に願いを書き、飾りと一緒に笹に結びました。子どもたちが笑顔で過ごして健やかに成長することを願い、穏やかな時間を過ごしました。飾り付けた笹は、大切に持ち帰りました。



▲最後に飾り付けた笹の前で記念撮影しました

## 手紙で気持ちを伝えよう 「手紙の書き方体験授業」開催

「手紙の書き方体験授業」が7月10日、明和小学校の全校生を対象に開催されました。日本郵便株式会社が実施する事業で、手紙の書き方を教える資格を持つ郵便局員が、子どもたちにハガキを書く時の注意点などを伝えました。

明和郵便局の星美穂局長は「手紙を書くときには、送る相手のことを考える。その気持ちが相手にも伝わるし、子どもたちには手紙を書く時間や伝えたい思いを大切にしてほしい」と話しました。授業の最後には、日本郵便のキャラクター「ぽすくま」が登場し、子どもたちと触れ合いました。



▲みんなで記念撮影。掛け声はぽすくまのあいさつ「ポッス〜！」

## 機械器具操法の 精度を高める

## 「消防団非常招集・放水訓練」実施



▲機械器具の操作方法を確認しました

「只見町消防団非常招集・放水訓練」が7月12日に行われ、非常招集から資機材展開までの流れや放水を伴うポンプ操作などの訓練を実施しました。

午前5時30分に訓練のためのサイレンと放送が流れると、消防団は火災想定現場の町下グラウンドに集合し、吸水から放水まで一連の消火作業を行いました。訓練用の火点はグラウンド内3カ所に設置され、只見、朝日、明和のそれぞれの班ごとに放水訓練を行いました。

## 生きもの調査で湿地の健康診断

## 「里山どろんこ遊び&生きもの調査in只見」開催

「里山どろんこ遊び&生きもの調査 in 只見」(公益財団法人日本自然保護協会主催)が7月19日、布沢集落で行われました。「母と子のネイチャースクール in 只見」で森林の分校 ふざわに滞在していた母子と町内在住の親子らが参加しました。

参加者は、まず緑樹の家で里山の絶滅危惧種や湿地の役割を学びました。次に、湿地に再生させた休耕田に入って網で生きものを探しました。今回はバッタやトンボなど、31種類の生きものを確認できました。参加者は泥遊びを楽しみながら湿地を整え、生きものを守る活動を行いました。



▲ひざまで泥に入って夢中で生きものを探しました



## 創業10周年をお祝い

# 「ねっか10周年感謝祭・ねっか祭り2026」 同時開催

「ねっか10周年感謝祭・ねっか祭り2026」(合同会社ねっか主催)が7月19日、季の郷湯ら里で同時開催されました。日中は、日頃の感謝を込めて「ねっか10周年感謝祭」が開かれ、ゲストアーティストによる音楽ライブイベントや飲食の販売、ウイスキー工場の見学が行われました。

夕方からは「ねっか祭り2026」が開催され、総勢210人が参加し盛り上がりました。暗くなってからは感謝花火が打ち上げられました。参加者はお酒や料理、音楽などを楽しみながら、ねっかの創業10周年を祝いました。



▲ねっか祭りでお祝いの乾杯をしました

## これから役立つ相続の知恵と備え 「地域福祉講座」開催



▲相続手続きのポイントを解説する田中さん(中央)

「令和8年度 地域福祉講座」(中央公民館主催)が朝日公民館で開催されました(第1回は6月25日、第2回は7月23日)。「これからのライフプランを考える」をテーマに全4回の開催を予定しています。講師は、あいグループ代表で行政書士の田中裕志さんが務めます。

第1回は元気な今だからこそ家族や支援者のために、自分の身の回りのことをライフプランノートに書き記しておく重要性を説明されました。第2回は相続手続きをテーマに、相続放棄や遺産分割協議、遺言書の効果などを解説されました。参加者からは個別のケースについて質問があり、田中さんが分かりやすく解説しました。

第3回(8月28日)は成年後見制度、第4回(10月22日)は生前対策をテーマに開催予定です。参加には電話または二次元コードから事前申込が必要です。

●お問合せ先 朝日公民館 ☎84-2111



申込用二次元コード

## 満百歳を祝う 五十嵐ヤナヨさんに知事賀寿が贈呈

五十嵐ヤナヨさん(蒲生)への知事賀寿状が贈られました。知事賀寿は、県内で百歳の誕生日を迎えた方に贈呈されており、五十嵐さんは7月27日で百歳を迎えられました。五十嵐さんは現在県外で生活されていますが、福島県から賀寿状と祝品が贈られ、只見町、町議会、社会福祉協議会等から祝金が贈られました。本当におめでとうございます。